

英語学習に有用なスピーカーを電子黒板本体に搭載 教育向け電子黒板「エリート パナボード」3機種を発売 書画カメラやデジタルカメラを接続してデータが取り込める

開発の背景

当社は、教育向け電子黒板としてスピーカーを標準搭載したほか、書画カメラやデジタルカメラを直接本体に接続してデータが取り込める電子黒板「エリート パナボード」(UB-T781W, UB-T781, UB-T761)の3機種を5月21日より発売しました。

文部科学省の新学習指導要領により、今年度から小学校5・6年生で外国語授業の先行実施が始まり、2011年度からは必修化されます。この外国語コミュニケーション能力育成のため、デジタル教材の活用やそれを支援するツールの1つとして、最近電子黒板が大きく取り上げられてきています。

当社の電子黒板は、パソコンとプロジェクターを使って、デジタル教材を電子黒板のボード上に投影し、描画ツールや拡大鏡などの直感的な操作ができることで大変好評を博してきました。今回の新製品は、これをさらに進化させ、デジタル教材をより効果的に活用できるようにしたため、教育現場で学習効果の高い授業に大きく貢献するものと考えています。

主な特長

1) 英語の発音や音楽などの音声出力ができるスピーカーを標準搭載

本製品は、新学習指導要領の実施に対応した教育向け電子黒板として本体にスピーカーを標準搭載しています。これにより、デジタル教材を使用した外国語学習の発音練習などでも、別途スピーカーを準備する必要がないため、スムーズに授業が進められます。搭載のスピーカーは、イコライザーなどによりクリアな音を提供します。さらに、外部音声入力端

子も装備しているため、CDプレーヤーなどの音響機器のスピーカーとしても活用できます。外国語以外の科目でも、動画や画像に加え、音声も簡単に活用できることにより、本製品は子供たちの集中力や理解力向上の促進に役立ちます。

2) 素材の取り込みが簡単にできる2つのUSBポートを搭載

本製品は、パソコンに加え、授業で使用頻度の高い書画カメラやデジタルカメラなど複数のデジタル機器を本体に接続することができるように2つのUSBポートを搭載しています。子供たちの提出物をその場でスキャナーで読み取り、ボード上に大きく表示させることなどで、学習効果を大きく高めることができます。毎日授業を行う先生方の「質の高い教材を使用したいが、作成する時間が取れない」、「書画カメラやデジタルカメラで簡単に素材を作成したい」という要望に対応しています。

3) ワイヤレスキットで配線無しにパソコン接続

パソコンと電子黒板の接続にはケーブルの配線が通常必要ですが、本製品には配線が不要で授業の事前準備を簡単に行うことができます。ワイヤレスキットを別売オプションとして用意しています。配線がなくなることにより、先生や子供たちが足元のケーブルにつまずくことも防止でき、より安心して使うことができます。



◆ 詳細URL ◆ <http://panasonic.co.jp/corp/news/official.data/data.dir/jn090511-1/jn090511-1.html>

さらなるコンパクトサイズを実現したハンド型/ペンダント型の2機種 赤外線ワイヤレスマイクロホン WX-LT150/WX-LT350を発売 使用電池数を当社従来比1/2に削減し、省コスト化に貢献

開発の背景

当社は、赤外線ワイヤレスマイクロホンシステムの新しい2機種を、2009年6月23日より発売しました。

壁を透過しない*1赤外線信号伝送をおこなう赤外線ワイヤレスマイクロホンシステムは、「(無線を傍受させない)優れた秘密性」、「混信しにくい*2」、「すべての部屋で同じマイクを使用できる」などといった特長を実現。情報セキュリティが求められる会議室、近接した部屋で多数のマイクが使用される施設、および多様な電波が飛び交う市街地の施設に適しています。このたび発売しましたWX-LT350(ペンダント型)およびWX-LT150(ハンド型)は、従来機種でご好評をいただいた基本性能を維持しながら、デザインやコストパフォーマンスの面から機能向上を図った新モデルです。

主な特長

1) 用途に合わせて使い分けられる2種類のマイク

「赤外発光部」「マイク部」「本体部」を一体化したペンダント型マイクWX-LT350は、本体装着のストラップによりポケットのない衣服でも簡単に装備でき、本体後面のクリップで衣服などに固定できるため、衣ずれ音や裏返りを防いで、ノイズを防止します。また、使用者自身のマイクや他の人が使っているマイク、および赤外線ワイヤレス パワースピーカーWX-LP100のライン入力の音量を調節できる音量調節用のボタンを従来機種から引き続き搭載*3しています。ハンド型マイクWX-LT150は、従来機種から引き続き赤外発光部をマイクヘッド部の下に搭載することで、発光部を手で隠してしまうことによる音途切れを防止します。また、スイッチを押して

いる間だけ拡声するプレストークスイッチを新たに搭載しました。

2) 小型・軽量化と、使用電池数削減(当社従来比1/2)を実現

WX-LT350は質量約55g(ストラップ含む、電池含まず)、WX-LT150は質量約105g(電池含まず)と、それぞれ従来機種から、さらなる小型・軽量化を図りました。特にWX-LT350は、容積で従来機種比約1/2という大幅なコンパクト化を実現しています。また、両機種とも、単3型アルカリ乾電池1本で約5時間の連続使用が可能*4です。

3) 高音質と優れた運用性を実現する当社独自のノウハウ

WX-LT350/WX-LT150の開発にあたっては、当社のサウンドシステム事業において、業界でトップシェアを誇るワイヤレスマイクロホンシステムの開発・販売を通して培ってきたノウハウを生かし、音質面と会議や講義における運用性を追求しています。

音質面では、独自の音声処理LSIを搭載し、広いダイナミックレンジでクリアな拡声を実現します。

*1: ガラス窓など、光を通す部分からは漏れます。

*2: 連法CB無線などの強電界や、同一室内での同チャンネル使用による混信は避けられません。

*3: 他機で音量調節ができるのは、本機のマイクと同じ受信機内で使用する、もう一方のマイクです。

*4: 当社製単3形アルカリ乾電池LR6EJ使用時。



◆ 詳細URL ◆ <http://panasonic.co.jp/corp/news/official.data/data.dir/jn090612-2/jn090612-2.html>